

麦類技術情報No. 2

平成28年11月16日

麦栽培者 各位

JA大潟村営農支援課
大潟村麦類生産班

越冬前の肥培管理について

11月14日現在の小麦の生育状況は、全ての項目において平年を下回っております。また、11月に入ってから降雨日が多かったことにより、湿害による葉色の淡い圃場が散見されますので下記を参考に肥培管理の徹底をお願いします。

1. 11月14日現在の生育状況

	品種名	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉令 (葉)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
小麦	銀河のちから	16.0	19.8	602.0	884.6	5.4	6.4
	平年比	80.8%		68.1%		-1.0	
	ネバリゴシ	16.6	16.7	532.0	921.5	5.3	6.1
	平年比	99.1%		57.7%		-0.8	

2. 今後の肥培管理(追肥と排水対策)

越冬出来る生育量(5~6葉)を確保するため、現在葉色の淡い圃場や株数・茎数の少ない圃場はN成分で2~3kg/10a(硫安現物で10~15kg程度/10a)を目安に追肥を実施してください。

なお、根雪前の葉令が8葉を上回る場合は、雪腐病の原因となりますので、生育量の多い圃場については追肥の量を控えてください。

また、排水対策についても田面排水が確実にできるよう再度の確認・整備をお願いします。

※11月17日(木)午後1:30分より現地講習会が開催されますので、是非ご参加下さい。集合場所はJA会館になります。